



Caritas Kaleidoscope

カリタス女子短期大学

英語・英語圏文化専攻

Vol. 13

英語・英語圏文化専攻教員紹介

Kaleidoscope を発行して、4年目の春を迎えました。2年前に一度教員紹介を行いました、その後新しい先生もお迎えしましたので、再度全教員紹介を行います。

氏名 専門 主な担当科目 出身地 趣味 自分に影響を与えた1冊の本 忘れられない場所 学生へのメッセージ



北川 宣子 英語教育学 英文講読、英語音声学、英語学概論 他 東京都 ガーデニング *Gift from the Sea* by A.M. Lindbergh 東アフリカ・タンザニアのナショナルパーク(3年間の滞在中に何度か訪れた雄大な国立公園で見た野生の動物の姿は今でも目に焼きついています。) いつも相手の立場に立って考えられるそんな人が好きです。



杉本 弼 国文学 教職入門、学校経営の研究、生徒指導・進路指導の研究 他 東京生まれの愛知育ち 山行、ゴルフ、園芸 『徒然草』、『夏目漱石全集』 ウルル・カタジュタ国立公園[オーストラリア](太古の地殻のうねりを感じて感動した。) 己を知り、知識への飽くなき探究心を持って欲しい。



浦野洋司 聖書神学(旧約) キリスト教人間学、聖書英語研究 他 群馬県高崎市 バイクツーリング、プラスバンド(鑑賞) 『ナホム書』(旧約聖書、十二小預言書) St. Bonaventure University(米国 NY 州、留学生活の最初の場所でした。) 音楽を愛し、よく睡眠をとり、信じるということ、そして人生のおどけた部分に目を向けることが大切!



伊藤知子 イギリス文学 英文講読、英米文学概論、英米文学史 他 兵庫県 映画鑑賞、音楽鑑賞、読書、ピアノ、パソコン 『聖書』 イギリス ドーセット州ドーチェスター(初めて国際学会に参加した時、現地の人たちから温かく迎え入れていただきました。) 思いやりを大切に。



パトリシア保田 英語教育学 Oral English、TOEIC ワークショップ 他 イギリス スポーツ、読書 *Brave New World* by Aldous Huxley スイス(とても美しい国でそこで最も幸せな日々を過ごしました。) “Carpe Diem.”(=“Seize the day.”)



前田隆子 英語教育学 英文講読、児童英語教育研究、英語科教育法 他 東京都 歌うこと、踊ること パウロ・フレイレ『被抑圧者の教育学』 ネパールのポカラにあるマチャプチャレ山(ここで見た日の出の美しさを超える風景にまだ出会えません。) 精神的により豊かな人間になるために共に学んでいきましょう。



北脇実千代 アメリカ文化 英文講読、TOEIC ワークショップ、英文法 他 鳥取県 映画鑑賞 『神谷美恵子日記』 モニュメント・ヴァレー(アメリカの自然の壮さに感動しました。) “Where there's a will, there's a way.” 志あるところに道は必ずあります。まずは一步を踏み出しましょう。

英米文学の故郷

第12回 カンタベリー

英語・英語圏文化専攻 教員

伊藤 知子



ジェフリー・チョーサー

ジェフリー・チョーサー (Geoffrey Chaucer, 1340-1400) は、「イギリス詩の父」と呼ばれる中世最大の詩人です。彼は1340年にロンドン (London) のシティ (City) でワイン商の息子として生まれました。国王の侍従となり外交使節としてフランスやイタリアを訪れたことが、彼の作風に影響を与えました。その生涯は3つの時期に分けられます。フランス文学の影響を受けたフランス期、イタリア文学の影響を受けたイタリア期、そしてイギリスの実社会を対象としたイギリス期です。代表作『カンタベリー物語』(The Canterbury Tales, 1387-1400) は円熟期であるイギリス期に書かれました。



イングランド南東部Kent (Kent) 州の都市カンタベリーはチョーサーが1360年から1361年まで住んだ所であり、カンタベリー大聖堂 (Canterbury Cathedral) があります。中世においてはカンタベリー大聖堂には殉教者聖トマス・ア・ベケット (Thomas a Becket, 1118-70) の霊廟に参拝する為にヨーロッパ中から巡礼者が訪れていましたが、16世紀にヘンリー8世がイギリス国教会を起こしてからは、イギリス国教会の総本山となっています。

『カンタベリー物語』はカンタベリーにある聖トマス・ア・ベケットの霊廟に参拝する為にロンドンのサザック (Southwark) にある宿屋に集まった 29



カンタベリー大聖堂

名の巡礼たちが旅の道すがらそれぞれ話をするという設定です。当時のあらゆる階層や職業の人々が登場し、彼らが生き活きと語る物語は宗教的な話から世俗的な話までさまざまですが、そこにはユーモアと人間に対する温かい心が感じられます。チョーサーは1400年にロンドンで亡くなり、ウェストミンスター寺院 (Westminster Abbey) 内の詩人の墓所 (Poets' Corner) に埋葬されました。

私がカンタベリー大聖堂を訪れたのは1998年の1月でした。堂々とそびえ立つゴシック様式の建築の荘厳な美しさに圧倒される思いがしました。

2003年度を振り返って

英語・英語圏文化専攻 主任

北川 宣子

英語・英語圏文化専攻の年間の行事は、入学式前に実施する TOEIC のプレースメントテストから始まり、春のオーストラリア海外研修旅行で締め括ります。その間、4月にはオリエンテーション旅行、5月にはスポーツデイ、6月には British Hills 体験学習、7月から8月にかけての夏のイギリス海外研修旅行、10月のあざみ祭、そして12月のクリスマス会と「静かに考える会」など、毎月のようにさまざまなイベントが用意されています。そしてもう1つ忘れてはならない卒業式。特に今年の春は、2002年度より導入した新カリキュラムによる初の卒業生を送り出した記念すべき年でもありました。この新カリキュラムは専攻の専門科目をすべてセメスター制へと切り替えたものです。そもそも在学中に1年間留学した学生が帰国後にスムーズに科目履修ができるように、また、9月入学生にも無理なく2年間で卒業できるように配慮したのですが、他の学生にとっても、半期毎に着実に単位が取得できるのでよい結果となりました。さて、いよいよこの軌道に乗ってきた新カリキュラムで新年度のスタートです。

卒業生の主な就職先

(株)横浜銀行、(株)住友倉庫、京セラ(株)、京セラエルコ(株)、(株)伊勢丹、(株)阪急百貨店、(株)パルコ、(株)プリンスホテル、(株)JAL カード、(株)アジア合同、(株)はまぎん事務センター、ヒロセ電機(株)、NEC プロサポート(株)、(株)ホンダクリオ神奈川北、(株)丸井アクセス、(株)アルプスビジネスクリエーション 他

卒業生の四大編入先

中央大学・経済学部・公共経済学科、東京女子大学・現代文化学部・言語文化学科、
日本女子大学・人間社会学部・現代社会学科、フェリス女学院大学・国際交流学部・国際交流学科、
白百合女子大学・文学部・英語英文学科、桜美林大学・文学部・英語英米文学科、
京都外国語大学・外国語学部・英米語学科、東洋英和女学院大学・国際社会学部・国際社会学科、
玉川大学・文学部・外国語学科（英語）、杏林大学・外国語学部・外国語学科、
東京純心女子大学・現代文化学部・英米文化学科

先生が学生だった頃

このコーナーでは、カリタス女子短大の先生方がどのような学生時代を送ったのか、
学生によるインタビュー形式でお届けします。第13回目のゲストは、言語文化学科
長の**稲葉延子先生**です。インタビュアーはこの3月に英語・英語圏文化専攻を卒業した永
野香苗さんです。



稲葉 延子 先生

Q-1:先生は大学では何を専攻されたのですか？

A-1:フランス文学を専攻していました。卒論では、シュールレアリストのアンドレ・ブルトンの『ナジャ』について書きました。最初は図書館司書になろう
と想过いましたが、学部を卒業して大学院の博士課程に進み、フランス文学の研究者になったわけです。大学院では、シモーヌ・ヴェイユというコ
ダヤ系の思想家について研究しました。

Q-2:学生時代にはまっていたことは何ですか？また、現在はまっていることは何ですか？

A-2:学生時代は読書(詩集)と編み物(帽子)でした。現在は読書(思想系)と料理(和食)です。

Q-3:留学の経験はありますか？

A-3:早くから働いていたので、長期留学はしていません。短期ではフランスのパリやラ・ロッシュェルという所に行きました。今でも年に2回ぐらいはフラン
スに行きます。

Q-4:先生は今までにたくさんのご経験されているようですが、学生時代の経験で今につながっていることは何かありますか？

A-4:大学4年の時にカリタスの中高で教育実習をし、それがきっかけで今カリタスで教えています。

Q-5:先生は学科の中でも英語圏の学生をどのように感じますか？

A-5:英語圏は就職する学生が多いためか、現実の社会に向かい合っているという印象があります。それだけに実務に長けていますが、もっと夢を抱
いてほしいと思うこともあります。もちろんその分、地に足がついているという長所も感じます。

Q-6:先生は紫色がお好きですが、いつから、そしてなぜですか？

A-6:小学生の頃からです。ピアノの発表会の時の服が紫でした。仕事でイタリアに行っていた父が紫色の絹の布を買ってきて、母がドレスに仕立てて
くれました。それ以来、紫のものを身につけていると落ち着くのです。

Q-7:カリタスの学生に一言お願いします。

A-7 カリタス女子短大が、あなた方にとって、生涯いつでも帰ってこられる場でありたいと思っています。そのためには、2年間750日を大切に過ごし
てほしいのです。思い出をたくさんつくってください。共有する時空をもてるということは、贅沢なことなのですから。

TOEIC コーナー

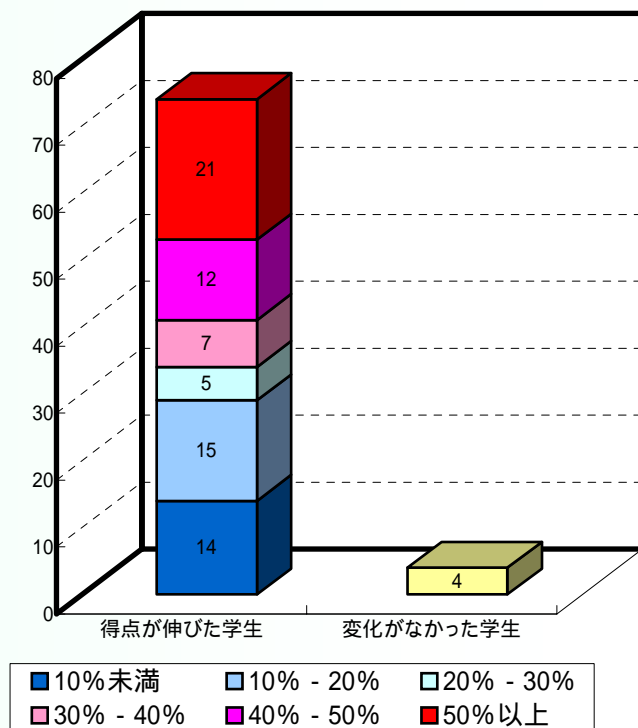
英語・英語圏文化専攻 教員
北脇 実千代

カリタスの英語・英語圏文化専攻の学生は、入学時そして1年次・2年次の1月に TOEIC IP (Institutional Program) を受験することになっています。在学中に少なくとも3回は必ず受験し、自らの得点を把握するシステムです。今年も例年通り、1月に試験を実施しましたが、ほとんどの学生が得点が伸びたことを喜び、さらに高い得点を目指していきたいと心を新たにしているようです。

右のグラフは、今年3月に卒業した学生が、在学中の2年間でどの程度得点が伸びたかをグラフにしたものです。分析の対象となっている学生78名のうち74名の得点が伸びていることとなります。伸び率はさまざまですが、50%以上伸びた学生が21名もいるのはとても嬉しいことです。

学生の中には、830点という高得点をとった学生もいました。これは、外資系の企業でも活躍できるほどの英語力がついたことを示しています。英語力は、日々の積み重ねの結果でもあります。毎日コツコツと勉強を続けてさえいれば、必ず力もついてくるでしょう。また卒業生の中には、2年間で500点以上も点数が上がった人もいました。皆さんもあきらめないで、頑張ってみてください。

TOEIC 得点伸び率の割合(平成16年3月卒業生)



Cool Web Site

英語・英語圏文化専攻 教員
前田隆子

今回ご紹介するのは、英語落語のHPです。<http://www8.plala.or.jp/y-naka/sub9.html>

皆さんもよくご存知の「時そば (Time-Noodles)」や「まんじゅうこわい (The Terrifying Bean Cakes)」を英語で楽しんでみましょう。

インターネットアドレス：「英語落語」

<http://www8.plala.or.jp/y-naka/sub9.html>

Kaleidoscope 第13号はいかがでしたか？ 皆さまのご意見・ご希望・ご質問など、お気づきの点を maeda@caritas.ac.jp までお寄せください。

2004年4月10日発行

発行責任者：北川宣子

編集協力：東京工科大学大学院

メディア学研究科 渡邊賢悟

カリタス女子短期大学

Caritas Junior College

〒225-0011

横浜市青葉区あざみ野 2-29-1

Tel:045-901-5133

Fax:045-901-5066

URL: <http://www.caritas.ac.jp/english>